

授業科目	＊初年次セミナー					実務家教員担当科目	－	
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期	
担当教員	木村 政伸／木村 茂喜／杉谷 修一／金谷 めぐみ／杉本 有紗／水貝 洵子							
授業概要	大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場である。基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。本科目は、大学での学びの質を高めるために必要なスタディ・スキルズを身につけることを目的とする。特に、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、本の読み方、問いの立て方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索の方法、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶための技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。							
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク		
学生が達成すべき行動目標								
標準的レベル	大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、他者と協働して学ぶ姿勢がみられる。							
理想的レベル	大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、自ら積極的に課題を探究し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。							
評価方法・評価割合								
評価方法			評価割合（数値）				備考	
試験								
小テスト								
レポート			50					
発表（口頭、プレゼンテーション）								
レポート外の提出物			30				0	
その他			20				グループワークにおける参加の程度	
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング								
DP1	○	DP2	－	DP3	○	DP4	－	ナンバリング
学習課題（予習・復習）								1 回の目安時間（時間）
・ 復習：授業中で指示された内容について復習をする								1
授業計画								
第 1 回	講義①：大学での学びとは（木村） ・ 大学で学ぶとは ・ そのためのスタディ・スキルズとは ・ 初年次セミナーの狙い ・ 研究倫理について							
第 2 回	講義②：情報へのアクセス法（情報システム課、図書課） ・ パソコンなどの利用法 ・ 図書などの利用法							

第 3 回	グループワーク①＜アイデアの収束法＞（木村） ・グループ編成・自己紹介 他 ・箇条書きから図式への技法 （各ファクターをまとめ、関係性を図式化する）
第 4 回	グループワーク②＜アイデアの収束法 2＞（全教員） ・KJ 法を用いてアイデアを構造的にまとめる ・各班ごとに課題を一枚の図式にまとめ、複数班で発表し合う
第 5 回	グループワーク③＜アイデアの発表法 1＞（全教員） ・4 班で 1 グループを作り、2 班ずつ 1 回目と 2 回目に分け、ディバートの分担を決める ・KJ 法を用いてディバートの内容を整理する （立論のための調査、論理構成の検討などを行う）
第 6 回	グループワーク④＜アイデアの発表法 2＞（全教員） ・手順に沿って、初回のディバートを行う （各グループ 4 班の内 2 班が討論を行い、残りの 2 班は進行やジャッジを担当する）
第 7 回	グループワーク⑤＜アイデアの発表法 3＞（全教員） ・第 2 回は、残りの 2 班が討論を行い、前回行った 2 班は進行やジャッジを担当する） ・ディバート終了後、グループワークについての自己評価を行う
第 8 回	講義③：本の読み方・レポートの書き方（木村） ・文献について ・文章の構成について ・文章の表現について ・適切な引用方法について
第 9 回	講義④：本の読み方・レポートの書き方（杉谷・全教員） ・学生が作成した過去の文章を素材に、各学生が前回学習した内容に即して添削する ・新聞のコラムなどから段落を削除したものを読んで段落を分け、全体のタイトルを考える ・各自の添削案、段落分け案、タイトル案を班で検討する ・最後に、教員から添削例を示す
第 10 回	課題レポート① 課題レポート作成にむけて（全教員） （この回以後は、学科ごとに分かれる） ・課題レポートの概要についての説明 ・「問いをたてる」についての説明 ・テーマを決める
第 11 回	課題レポート② （全教員） （学科別）個人ワーク テーマに関する情報を集める① ・文献を探す/文献検索（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他 利用） ・文献を読む ・問いを立て、プロットを組む （各教室、図書館、PC 室）

第 12 回	課題レポート③（全教員） （学科別）個人ワーク テーマに関する情報を集める② ・ 文献を探す/文献検索（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他 利用） ・ 文献を読む ・ 問いを立て、プロットを組む （各教室、図書館、PC 室）
第 13 回	課題レポート④（全教員） （学科別）中間発表（グループワーク） ・ 問題設定、レポートの論旨の流れ、使用した文献について発表する ・ 班で発表内容について意見交換を行う ・ 意見交換をもとに推敲し、後日推敲したレポートを教員に提出する
第 14 回	課題レポート⑤（全教員） （学科別） ・ 提出されたレポートを添削してフィードバック （個人ワーク） ・ 返却されたレポートのブラッシュアップを行う ・ レポート作成・仕上げ（2000 字程度）
第 15 回	課題レポート⑥（全教員） （グループワーク） ・ 班内でレポート内容について発表する ・ 自己のレポートを振り返る
テキスト	・ 溝上慎一著『大学生の学び・入門』 有斐閣アルマ ・ 学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』 くろしお出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	学生が提出したレポートについて、添削などを行ったうえでフィードバックする
課題に対するフィードバックの方法	・ 分野にこだわらず、様々な領域を扱う書籍・芸術・情報に関心を持ちましょう。 ・ 疑問や興味を持ったテーマについて、図書館などデータベースを活用し、学びを深めましょう。 ・ 基本的なパソコン操作を修得しましょう。 本セミナーでの学びを充実させるには、自らが進んで課題を探究していく姿勢が大切です。 ・ 課題以外にも様々なことに興味関心を持ち、自ら学ぶ積極的な姿勢で取り組みましょう。 ・ 図書館を利用し、主体的に学ぶ学習習慣を確立しましょう。 ・ 仲間との協働を通じて得る学びは貴重です。グループワークには、意欲的に臨みましょう。

学生への メッセー ジ・コメ ント	
----------------------------	--